

自然保育推進事業 活動報告書

1. 団体名：焼山こぼと幼稚園
認定こども園焼山こぼと

2. 今年度の活動概要

- (1) 環境構成に関すること

比較的、季節の移り変わりなどの自然を身近に感じることができる園ですが、それだけにたよるのではなく、今年度は子供たちが手に取ることができたり、見て楽しむことができる草花をより多く、範囲を広げて育ててみました。(写真1)

園庭に少し高低差を付けた場所を作り、傾斜部分にシロツメクサを育てるなど、2～3年かければ、イメージに近い遊び場ができると考えています(写真2)

また、今年度は収穫した野菜を使って現代の生活の中ではなかなか体験できないようなことを保育の中で取り入れていきました。

写真1



写真2



(2) 活動例

1年間の活動の様子

竹に穴をあけて、滝のように水が落ちてくるのを楽しんだり、ブルーシートを使って、水たまりを作る。あふれた水が、今度はどろんこ遊びに発展



桜の下でお花見。季節感を楽しみました



風を見つけてみよう。と矢車を持って外で遊びました。



草が少し生えた場所で、ありを見つけていました。



年少さんの水遊び。どの入れ物だったら、水が運べるか試しています。



田植え前の田んぼに遊びに行き、どろんこ遊び

泥の感触や、田んぼの深さに驚いたり、今までに見たことがない虫や生き物に触れるなどしました



葉っぱやドングリを使って遊ぶ。



職員が自宅から持ってきた筍の皮をはいで、筍の感触・色・香りに触れる



裏山での遊び



竹筒を利用してブランコづくり



(3) 食育につながる活動

昔の子どもたちならだれでも経験できたことが、団地内では経験することが難しくなっていることを園で経験できるように計画



畑でできた大根の収穫。うれしそうに収穫する子もいれば、葉っぱの大きさや虫に圧倒されて立ちすくむ子もいた



収穫した大根は、その日に漬物・炒め物にして、昼食時に頂いた。葉っぱを食べることが初めての子もいる



たき火をして、焼き芋を体験。大きな炎は近づくと熱かったり、煙の臭いがちょっと臭いなどを子どもたちは知ることができた。

また、この活動にあたって、初めて焼き芋をする職員もおり、どうやったら焼き芋ができるのか、芋の包み方や焼き方などを調べ、実践することができた

